

身近かに自然を取り戻そうとする取り組みがビオトープ（生き物のいる場所）づくりです

(1) 報徳小学校のビオトープ（報徳ランド・報徳の池）

平成5年中庭に井戸を掘り、水の流れや池を造りました。池や周辺には水生植物や地域の草木を植え、酒匂川水系のメダカを放流しました。

ゲンゴロウの仲間なども見られるようになってきました。



(2) 千代小学校のビオトープ（ほたる^{でん}田）

平成6年学校の裏にあった休耕田と井戸を借用し、流れや池を造りました。周辺は、自然状態を保つようにし、歩く所には木道を造りました。一部は実習用の水田や畑にしています。



(3) 下曽我小学校のビオトープ（自然ランド）

平成17年にプール横の市営住宅跡地に子どもの思いを生かした自然ランドをつくりました。古井戸を改修し、その水を流して小川や池をつくり、木を植えて生き物の来る場所にしました。クロスジギンヤンマが羽化し、放流したホタルも飛び始めました。

